

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公開番号】特開2002-86461(P2002-86461A)

【公開日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-283970(P2000-283970)

【国際特許分類】

B 2 9 C	39/18	(2006.01)
B 0 8 B	3/02	(2006.01)
B 0 8 B	3/08	(2006.01)
B 2 9 C	33/72	(2006.01)
B 2 9 C	39/22	(2006.01)
G 0 2 B	3/00	(2006.01)
G 0 2 B	5/04	(2006.01)
B 2 9 L	11/00	(2006.01)

【F I】

B 2 9 C	39/18	
B 0 8 B	3/02	A
B 0 8 B	3/08	Z
B 2 9 C	33/72	
B 2 9 C	39/22	
G 0 2 B	3/00	A
G 0 2 B	5/04	A
G 0 2 B	5/04	E
B 2 9 L	11:00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月18日(2005.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 表面上に微細凹凸形状が形成された外周面を持つ円筒形状型の前記外周面と透光性基材の一方の面との間に活性エネルギー線硬化性組成物を供給して前記型と前記透光性基材との間に組成物層を形成し、前記透光性基材を通して活性エネルギー線を照射して前記組成物層を硬化し賦形して前記微細凹凸形状に対応する形状を持ち活性エネルギー線硬化樹脂からなる凹凸部を形成し、該凹凸部及び前記透光性基材を一体として前記型から離型することにより、表面上に前記凹凸部を備えた光学シートを連続して製造するのに利用される前記円筒形状型を洗浄する方法であつて、

前記型を少なくとも起泡剤とノニオン系界面活性剤と金属イオン封鎖剤とを含む洗浄剤で洗浄することを特徴とする、光学シート製造用円筒形状型の洗浄方法。

【請求項2】 前記型を前記洗浄剤中に浸漬し及び／または洗浄剤を掛け流す第1の洗浄剤処理工程と、

該第1の洗浄剤処理工程の後に、前記型に対してメタノールを掛け流すメタノール処理工程と、

該メタノール処理工程の後に、前記型を前記洗浄剤中に浸漬し及び／または洗浄剤を掛け流す第2の洗浄剤処理工程と、

該第2の洗浄剤処理工程の後に、前記型の表面の残留物を除去する仕上げ処理工程と、を含むことを特徴とする、請求項1に記載の光学シート製造用円筒形状型の洗浄方法。

【請求項3】 前記第1の洗浄処理工程の前に前記型に対してアセトンを掛け流し更にメタノールを掛け流すアセトン・メタノール処理工程を行い、更に、前記第1の洗浄剤処理工程に続いて前記型に対してアセトンを掛け流すアセトン処理工程を行うことを特徴とする、請求項2に記載の光学シート製造用円筒形状型の洗浄方法。

【請求項4】 前記仕上げ処理工程は、前記型に対してノニオン系界面活性剤をシャワーし、続いて純水をシャワーし、続いて純水を掛け流し、続いてエタノールを掛け流し、続いて温風吹き付けにより前記レンズ型を乾燥させるものであることを特徴とする、請求項2または3に記載の光学シート製造用円筒形状型の洗浄方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の一態様においては、前記型を前記洗浄剤中に浸漬し及び／または洗浄剤を掛け流す第1の洗浄剤処理工程と、

該第1の洗浄剤処理工程の後に、前記型に対してメタノールを掛け流すメタノール処理工程と、

該メタノール処理工程の後に、前記型を前記洗浄剤中に浸漬し及び／または洗浄剤を掛け流す第2の洗浄剤処理工程と、

該第2の洗浄剤処理工程の後に、前記型の表面の残留物を除去する仕上げ処理工程と、を含む。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】削除

【補正の内容】